


ふりがな 氏名	わたなべ みなみ	都道府県	愛知県	
	渡部 南			
所属/肩書	<ul style="list-style-type: none"> ・渥美どろんこ村 ・田原市立野田小学校 / 教諭 			
私のESD活動	「そだてるたべるつながる」という自給自足な農的暮らしを目指しています			

活動の概要

わたしの実家は、愛知県渥美半島で農家をしています。野菜を育てるだけでなく、ブタやヤギ、ニワトリ、犬なども一緒に暮らしています。私たちが目指すのは、自給自足の農的な暮らしを目指しています。自分の食べるものは自分でつくる。それは、一見不自由なようですが、本来生きるために誰もがしてきた、そして実に豊かな暮らしとされてきたものです。今ではお金を出せば、いろいろな食べ物が季節を問わずに食べられる今、子どもたちは食べ物に「命」があることを知らずに育っています。しかし、命を育て、命を食べて、命と自分がつながっていることを実感することは、まさに生きることそのものです。この私たちの暮らしを子どもたちの学びの場に行き渡らせるのではないかと考え、子どもたちや都会で暮らす人たちを受け入れて、農家本来の豊かな暮らしを体験してもらいたいと思い、主に春休み、GW、夏休み、冬休みにファームステイを行っています。今では、年間20コース、約300の方が参加するまでになりました。

○「渥美どろんこ村」 <http://yagibuta.jp/index.html>

今後の活動や協働への展望

教育は、学校だけが担うものではなく、多くの分野から働きかけて子どもたちを育てていくものだと思います。しかし、農家や NPO 団体や企業がどれだけ子どもたちに働きかけたいという思いをもっていても、やはり限界があります。しかし、学校が軸となり、子どもたちとそれらをつなげる役目を担えば、教育の可能性はとてつと広がると思います。コンファレンスに参加を通して、私は学校を軸として、人や地域や自然を子どもたちとつなげるために自分ができることを具体的に考えていきたいです。そして、他者(人・自然・動物・地域など)とのつながりを感じられる子どもたちを育てたいです。私は、他者とのつながりを実感することが、他者への思いやりにつながると思います。そして、その感覚が ESD の根っことなる部分だと考えています。